SONY

3-234-032-**02**(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MZ-E606W WALKMANは、ソニー株式会社の登録商標です。

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

付属品を確かめる

● ワイヤレスコントローラー（リチウム電池CR2032入り）　● ストラップ　● ヘッドホン　● 充電スタンド（組み立て後）

ストラップの取り付け方

● ACパワーアダプター（3V用）（付属の充電スタンド専用）　● キャリングポーチ　● 充電式ニカド電池 NC-6WM　● 乾電池ケース（DC INジャックなし）

● 充電池ケース（Battery carrying case）　● 取扱説明書　● 保証書　● ソニーご相談窓口のご案内

安全のために

⚠危険

- ボタン型電池誤飲防止について
  —ワイヤレスコントローラーの電源にはボタン型電池を使用しています。
  —ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、ワイヤレスコントローラーおよび電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
  —万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の＋と－がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースまたは本体はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

各部のなまえ

プレーヤー本体

1. 表示窓
2. GROUPボタン
3. 3色お知らせLED
4. MENU/ENTボタン
5. ∩(ヘッドホン)ジャック
6. OPENつまみ
7. 充電式電池入れ
8. VOL（音量）+*/– ボタン
9. ⏮/⏭ ▶/❚❚/■ ボタン
10. HOLD（誤操作防止）スイッチ（底面）
    本体のボタンが働かなくなり、誤操作を防ぎます。
11. 充電用端子／乾電池ケース用端子
12. WIRELESS ON/OFFスイッチ（底面）

充電スタンド

1. 充電用端子
2. CHARGE（充電）ランプ
3. DC IN（3Vジャック）（裏面）

本体表示窓

1. ディスク表示
2. グループモード表示
3. 曲番表示部
4. 電池残量表示
5. 再生状態表示
6. サウンド表示
7. ディスク、グループ、トラック表示
8. 文字情報表示部

ワイヤレスコントローラー

1. HOLD スイッチ
   ワイヤレスコントローラーのボタンが働かなくなり、誤操作を防ぎます。
2. ⏮/⏭ ▶*/■/LIGHT ボタン
   ■/LIGHTを押すとキーライトとしてもお使いになれます。
3. キーライト／操作確認LED
4. リチウム電池入れ（底面）
5. VOL（音量）+*/－ボタン
6. RELEASEボタン
   ボタン電池のふたを開けるときに使用します。
7. ストラップ取り付け部

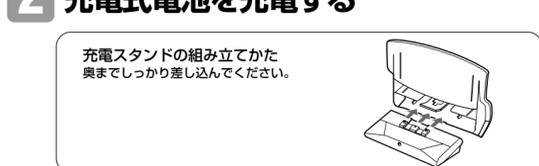
* ボタンに凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

準備する

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。

1 充電式電池を入れる

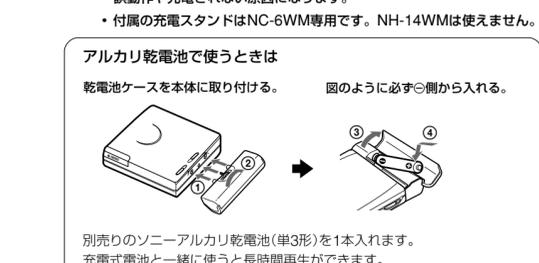
2 充電式電池を充電する

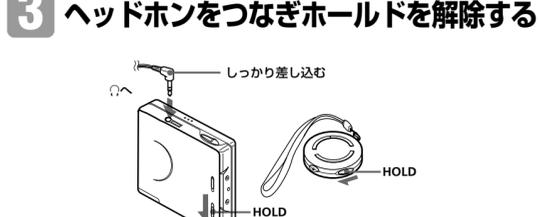
充電スタンドの組み立てかた
奥までしっかり差し込んでください。

本機に付属の充電式電池NC-6WMを入れた後、付属の充電式スタンドに置くだけで簡単に充電することができます。約6時間で充電が完了し、ランプが消えます。

[!]
- **充電スタンドにのせるとき、または充電中は操作しないでください。誤動作や充電されない原因になります。**
- **付属の充電スタンドはNC-6WM専用です。NH-14WMは使えません。**

アルカリ乾電池で使うときは

乾電池ケースを本体に取り付ける。　**図のように必ず⊖側から入れる。**

別売りのソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

3 ヘッドホンをつなぎホールドを解除する

4 ワイヤレス機能を働かせる

本体のWIRELESSスイッチをONにする。

ご注意
- 本機は、ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけ延ばした状態でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、WIRELESSスイッチをOFF にしてください。

ミニディスクを聞く

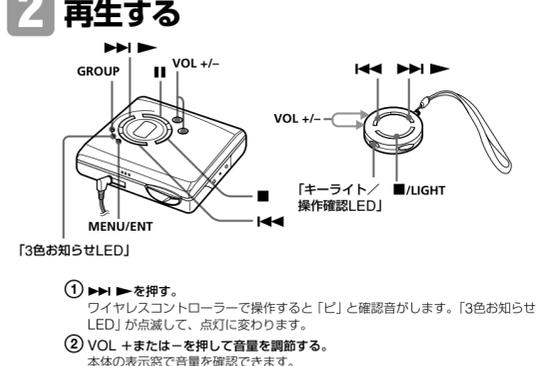
1 ミニディスクを入れる

① OPENつまみを矢印の方向へずらす。　② ミニディスクを入れる。　③ ふたを閉める。

ディスクのラベル面を上にし、矢印の向きに奥まで押し入れてください。

2 再生する

① **⏭ ▶を押す。**
ワイヤレスコントローラーで操作すると「ピ」と確認音がします。「3色お知らせLED」が点滅して、点灯に変わります。

② **VOL +または－を押して音量を調節する。**
本体の表示窓で音量を確認できます。

再生を止めるには、■を押す。
ワイヤレスコントローラーで操作すると「ピー」と確認音がします。
次に再生する時は、止めたところの続きから始まります。ディスクの初めの曲から再生を始めたいときは、⏭ ▶を2秒以上押したままにして再生を始めてください。

1) 「3色お知らせLED」の色は次のように点灯します。また、電池の残量が少なくなると点滅します。くわしくは、「充電式電池・乾電池の取り換え時期は」をご覧ください。

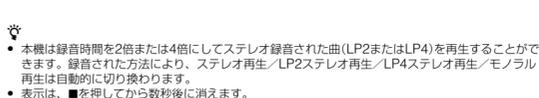
LED色	状態
赤色	通常再生時
緑色	グループモード*再生時
オレンジ色	グループスキップモード*時（約5秒間）

* くわしくは、「「グループ機能」を使う」をご覧ください。

こんなときは	操作（ワイヤレスコントローラーの確認音2)）
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする3)	⏮を押す。（ピピピ） またはさらに戻したい曲数だけ⏮を繰り返し押す。（ピピピ・ピピピ・・・）
次の曲を頭出しする4)	⏭ ▶を押す。（ピピ）
再生しながら早戻しする	⏮を押したままにする。
再生しながら早送りする	⏭ ▶を押したままにする。
一時停止する	❚❚を押す。 もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のOPENつまみをずらす5)。

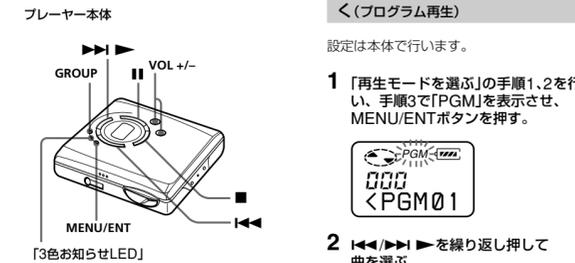
2) ワイヤレスコントローラーの確認音は消すこともできます。くわしくは「ワイヤレスコントローラーの確認音を消す」をご覧ください。
3) ディスクの1曲目で⏮を押すと、ディスクの最後の曲になります。
4) ディスクの最後の曲で⏭ ▶を押すと、ディスクの1曲目になります。
5) ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。（グループモード再生のときを除く）

本体表示窓の見かた

くわしくは、「曲名や曲の時間を見る」をご覧ください。

6) 曲名やディスク名などの文字情報を記録しているディスクのときのみ表示します。

💡
- 本機は録音時間を2倍または4倍にしてステレオ録音された曲（LP2またはLP4）を再生することができます。録音された方法により、ステレオ再生／LP2ステレオ再生／LP4ステレオ再生／モノラル再生は自動的に切り換わります。
- 表示は、■を押してから数秒後に消えます。

▶いろいろな聞きかた

プレーヤー本体

再生モードを選ぶ

通常の再生のほか、1曲再生（1Track）、シャッフル再生（Shuff）、プログラム再生（PGM）ができ、さらに各再生状態のまま繰り返し聞くことができます。

設定は本体で行います。

1 再生中、MENU/ENTボタンを押す。

2 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して「P–MODE」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して選択したい再生モードを点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
⏭ ▶を繰り返し押すたびに、表示Ⓐが次のように変わります。選択したい再生モードが点滅しているときに、MENU/ENTボタンを押して確定すると、表示Ⓑが点灯します。

⏭ ▶を繰り返し押すとⒶが変わる。

MENU/ENTボタンを押すとⒷが点灯する。

Ⓐ／Ⓑ（再生状態）

Normal/—（通常の再生）
↓
AllRep/⊂（全曲を繰り返して再生）
↓
1Track/*1*（再生中の1曲を再生）
↓
1 Rep./⊂*1*（再生中の1曲を繰り返して再生）
↓
Shuff/*SHUF*（全曲を順不同に並べ変えて再生）
↓
Shuf. R/*SHUF*⊂（全曲を順不同に並べかえて再生、さらに繰り返し並びかえて再生）
↓
PGM/*PGM*（曲を好きな順に並べかえて再生）
↓
PGMRep/*PGM*⊂（曲を好きな順に並べかえて繰り返し再生）

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

好きな順番に曲を並べ変えて聞く（プログラム再生）

設定は本体で行います。

1 「再生モードを選ぶ」の手順1、2を行い、手順3で「PGM」を表示させ、MENU/ENTボタンを押す。

2 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して曲を選ぶ。

3 MENU/ENTボタンを押す。
曲が決定します。

4 手順2、3を繰り返して、好きな順に曲を選ぶ。

5 MENU/ENTボタンを2 秒以上押す。
設定が確定し、1曲目から再生が始まります。

💡
- 再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。
- 全部で20曲までプログラムできます。
- グループモードをONにして特定のグループを選択すると、そのグループ内での再生モードを選ぶことができます。グループモードをONにするには、「「グループ機能」を使う」の「グループ機能を使って聞く」をご覧ください。
- 一時停止中や停止中も操作できます。

ご注意
- ふたを開けると設定は解除されます。
- 停止状態での設定の途中、5分間何も操作されなかったときは、それまでの設定でプログラムが確定します。
- プログラム設定中、グループモードをON/OFFしようとしても、「SORRY」と表示され、ON/OFFできません。
- プログラム再生中、グループモードをONにすると、プログラム再生は解除されます。

聞きたい曲や場所を高速で探す（高速サーチ）

高速サーチには次の2種類があります。いずれかの高速サーチを選ぶことができます。

- **インデックスサーチ（Index）**: 曲番や曲名を見ながら聞きたい曲を探す。（お買い上げ時の設定）
- **タイムサーチ（Time）**: 経過時間を見ながら聞きたい場所を探す。

設定は本体で行います。

1 再生中、MENU/ENTボタンを押す。

2 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して「SEARCH」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して「Index」（インデックスサーチ）または「Time」（タイムサーチ）を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

4 ❚❚ボタンを押して一時停止させる。

5 ⏮/⏭ ▶を押したままにして、聞きたい曲番／曲名（インデックスサーチ）または聞きたい場所の経過時間（タイムサーチ）を表示させる。

6 ❚❚ボタンを押して一時停止を解除する。

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

💡
- シャッフル再生中にインデックスサーチを行うと、選んだ曲からシャッフル再生が始まります。
- インデックスサーチで曲を探すとき、ディスクの最後または最初の曲が表示されると、ディスクの最初または最後の曲に戻ります。（グループモード「「グループ機能」を使う参照」のときは、グループの最後または最初の曲が表示されると、グループの最初または最後の曲に戻ります。）

「グループ機能」を使う

グループ設定されたディスクで、「グループ機能」を使うことができます。複数のCDアルバムから1枚のディスクに、多数のトラックを録音したものを再生するときや、MDLP（LP2/LP4）モード録音したものを再生するときなどに便利です。

グループ設定されたディスクとは？

1枚のディスクに、録音された複数の曲を下図のようにいくつかのグループにまとめ、それぞれのグループを選択できるように設定されたディスクです。本機ではグループ設定することはできません。

ディスク
グループ1 曲番 1 2 3 ／ 4 ／ グループ2 曲番 5 6 ／ グループ3 曲番 7 8

💡
ディスクネームを編集できる録再機では、グループ設定が可能です。「お手持ちのMDレコーダーでグループ設定をするには」をご覧ください。

グループ機能を使って聞く（グループモード再生）

グループモードOFF時再生：ディスクの1曲目から最後の曲まで再生

ディスク
曲番 1 2 3 ／ 4 ／ 5 6 ／ 7 8

グループモードON時再生：選んだグループ内の曲を再生

ディスク
グループ1 曲番 1 2 3 ／ 4 ／ グループ2 曲番 1 2 ／ グループ3 曲番 1 2

設定は本体で行います。

1 グループ設定されたディスクを本機に入れ、再生する。

2 GROUPボタンを2秒以上押す。
「🗀」が表示され、「3色お知らせLED」が緑色に点灯し、グループモードがONになります。
再生中の曲が入っているグループの最後の曲まで再生して停止します。
別のグループを聞きたいときは「グループを選んで聞く」をご覧ください。

グループモードをOFFにするには
GROUPボタンを2秒以上押したままにして「3色お知らせLED」を赤色に点灯させます。

💡
- グループモードONのときでも、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生をすることができます。操作のしかたについては、「再生モードを選ぶ」をご覧ください。
- グループモードONのときにグループの最後の曲を再生中、⏭ ▶を押すと、グループの1曲目から再生が始まります。グループ内の1曲目を再生中、⏮を2回押すと、グループの最後の曲を再生します。

ご注意
グループモードがONのとき、ディスク内のグループ設定されていない曲は一時的に1つのグループにまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Gp ––」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

グループを選んで聞く（グループスキップモード）

グループ設定されたディスクは、再生中に次のグループに進んだり、前のグループに戻ることができます。グループモードのON/OFFに関係なく操作できます。

グループモードOFF時

ディスク
1 2 3 ／ 5 6 ／ 7 8 ／ 4
スキップ　スキップ　スキップ

グループモードON時

ディスク
グループ1 曲番 1 2 3 ／ グループ2 曲番 1 2 ／ グループ3 曲番 1 2 ／ 4
スキップ　スキップ　スキップ

設定は本体で行います。

1 グループ設定されたディスクを本機に入れ、再生する。

2 GROUPボタンを押す。
「🗀」と「– – –」が点滅、「3色お知らせLED」がオレンジ色に点灯し、グループスキップモードに入ります。

3 5秒以内に⏮/⏭ ▶を繰り返し押して、再生したい曲があるグループ名またはグループ番号を表示させる。
選択されたグループの1曲目から再生が始まります。

グループ名（例：AAA）がある時

グループ名がない時

GP
Gp 02
グループ番号

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

ご注意
手順3で、5秒間⏮/⏭ ▶ボタンを操作しないと、グループスキップモードが解除されます。そのときは、もう一度手順2から操作しなおしてください。

お手持ちのMDレコーダーでグループ設定をするには

グループ機能を搭載していない機器でも、ディスク名の編集ができるMDレコーダー（MDデッキ、レコーディングMDウォークマンなど）であれば、グループ設定が可能です。下記の設定方法にしたがって正しく入力してください。入力が間違っているとグループ機能は働きません。

設定方法

1 お手持ちのMDレコーダーでディスク名を下記のように変更する。

0;[ディスク名]//[第1グループ先頭曲]-
（Ⓐ＝[ディスク名]、Ⓑ＝[第1グループ先頭曲]）
[第1グループ最終曲];[第1グループ名]//
（Ⓑ＝[第1グループ最終曲]、Ⓒ＝[第1グループ名]）
[第2グループ先頭曲]-[第2グループ最終曲]
（Ⓑ、Ⓑ）
;[第2グループ名]//……
（Ⓒ）

Ⓐ ディスク名
Ⓑ 曲番
Ⓒ グループ名
// グループの区切り
- 最初の曲と最後の曲を結ぶハイフン
; 曲番とグループ名の区切り

例）Collectionsというディスク名で、下記のグループを設定する。
1～7曲目のグループ名:
My Favorites“2001winter”
8～17曲目のグループ名:
Jun&Tac“sunshine head”
18~24曲目のグループ名:
THE NIGHT BUTTERFLYS
25~32曲目のグループ名:
ﾄﾞﾘｰﾑﾜｰﾙﾄﾞ/Kiss Me!

入力する文字列
0;Collections//
1–7;My Favorites“2001winter”//
8–17;Jun&Tac“sunshine head”//
18–24;THE NIGHT BUTTERFLYS//
25–32;ﾄﾞﾘｰﾑﾜｰﾙﾄﾞ/Kiss Me!//

💡
- 1枚のディスクにグループを99個*まで作ることができます。
- グループ名に「;」「/」「–」を用いることができます。
- 1枚のディスクに、同じ名称のグループを2つ以上登録することができます。
- Ⓒのグループ名を入力せずにグループ分けのみを設定することもできます。

* お手持ちのMDレコーダーの文字編集能力によっては、作成可能なグループ数が少なくなる場合があります。

ご注意
お手持ちのMDレコーダーの仕様によっては、正しくグループ機能が働かない場合があります。

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音・低音を強調し、お好みの音質に設定できます。設定は2種類記憶することができ、再生中に選べます。
設定は、本体で行います。

音質を選ぶ

お買い上げ時の設定は
- 「SOUND1」のとき
  BASS（低音）：＋1、TREBLE（高音）：±0
- 「SOUND2」のとき
  BASS：＋3、TREBLE：±0

1 再生中、MENU/ENTボタンを押す。

2 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して「S–SEL」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して「SOUND1」または「SOUND2」、「OFF」を選んでMENU/ENTボタンを押す。
「OFF」を選ぶと、プリセット設定は解除されます。

音質を変える

1 「音質を選ぶ」の手順1、2を行い、手順3で「SOUND1」または「SOUND2」を選んでMENU/ENTボタンを押す。

2 もう一度MENU/ENTボタンを押し、⏮/⏭ ▶を繰り返し押して「S–SET」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
低音（BASS）の設定画面になります。

さらにもう一度MENU/ENTボタンを押すと、高音（TRE）の設定画面になります。

3 ⏮/⏭ ▶を繰り返し押して低音（BASS）または高音（TRE）の強弱を設定する。

–4から+3の8段階で設定することができます。

2つ目のSOUND設定をするには、「音質を選ぶ」の手順1から3を行ってください。

4 MENU/ENTボタンを押す。
設定が登録され、再生表示に戻ります。

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

💡
一時停止（❚❚）中でも設定することができます。

ご注意
デジタルサウンドプリセットを使っているとき、設定や曲によっては音が割れたり、ひずんだりすることがあります。そのときは音質設定を変更してください。

プレーヤー本体

▶▶| ▶
GROUP
||
VOL +/–
■
|◀◀
MENU/ENT
「3色お知らせLED」

▶その他の機能

曲名や曲の時間を見る

曲名やディスク名、曲番、曲の経過時間、録音されている曲数、グループ名、グループ内の総曲数を確認できます。

A	B	C
曲番	—	経過時間
曲番	♫	曲名*
グループ内の総曲数	GP	グループ名*
ディスク内の総曲数	(ディスク)	ディスク名*
曲番	—	トラックモード

* 文字情報を記録しているディスクのときのみ表示します。

1 MENU/ENTボタンを押す。

2 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「DISP」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して確認したい情報を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
押すたびに表示は以下のように変わります。

LapTim（経過時間）
↓
T. Name（曲名）
↓
G. Name（グループ名）
グループモードがONのときのみ表示されます。
↓
D. Name（ディスク名）
↓
T–MODE（トラックモード）

グループ名は、グループスキップモード時にも表示されます。

ご注意
- グループ ON/OFFの状態や、動作状態、設定状況によっては、表示が選択できなかったり、表示が異なったりすることがあります。
- トラックモードは、再生中のみ表示されます。表示されてから2秒後に、自動的に経過時間表示に戻ります。

音飛びを抑える
(G-PROTECTION機能)

G-PROTECTIONはジョギング時の衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。従来の音飛びガードよりさらに音飛びに強くなっています。

ご注意
次のようなとき、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられたとき
- 傷や汚れのあるMDを聞いているとき

音もれを抑え耳にやさしい音にする
(AVLS — オートボリュームリミッターシステム — 快適音量)

設定は本体で行います。

1 MENU/ENTを押す。

2 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「OPTION」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「AVLS」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

4 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「ON」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
「ON」が点灯し、2秒後に自動的に経過時間表示に戻ります。

AVLSを解除するには
手順4で「OFF」を選び、MENU/ENTボタンを押します。

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

ワイヤレスコントローラーの確認音を消す

ワイヤレスコントローラーの確認音を消すことができます。

設定は本体で行います。

1 MENU/ENTを押す。

2 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「OPTION」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「BEEP」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

4 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「OFF」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

ワイヤレスコントローラーの確認音を鳴らすには
手順4で「ON」を選び、MENU/ENTボタンを押します。

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

誤操作を防ぐ
(ホールド機能)

1 HOLDスイッチを━▶（ワイヤレスコントローラーでは▶）の方向にずらす。
本体のHOLDスイッチをずらすと、本体の操作ボタンが、ワイヤレスコントローラーのHOLDスイッチをずらすと、ワイヤレスコントローラーの操作ボタンが働かなくなります。

HOLDを解除するには
HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらします。

電池の消耗を抑える
(パワーセーブ機能)

「3色お知らせLED」を操作状態にかかわらず常に消灯させることにより、電池の消耗を抑えます。

設定は本体で行います。

1 MENU/ENTボタンを押す。

2 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「OPTION」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「P–Save」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

4 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「ON」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

「3色お知らせLED」をつけるには
手順4で「OFF」を選び、MENU/ENTボタンを押します。

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

ワイヤレスコントローラーのIDを設定する

ワイヤレスコントローラーが持つ固有IDを本体に記憶させることができます。他の人が持っている同機種のワイヤレスコントローラーによる誤動作を防ぐことができます。

設定は本体で行います。

1 MENU/ENTボタンを押す。

2 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「OPTION」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

3 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「W. Rm ID」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。

4 |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「IDSet」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
「Rcv ID」が点滅します。

5 10秒以内に、ワイヤレスコントローラーの▶▶| ▶を「Get ID」が点灯するまで押す。
本体にIDが記憶されます。

IDの設定を解除するには
① MENU/ENTERボタンを押す。
② |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「OPTION」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
③ |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「W. Rm ID」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
④ |◀◀/▶▶| ▶を繰り返し押して「ALL」を点滅させ、MENU/ENTボタンを押す。
「ALL」が点灯し、IDが解除されます。

途中で設定をやめるには
設定の途中で本体の■ボタンを押します。

ワイヤレスコントローラーをキーライトとして使う
(キーライトモード)

1 ワイヤレスコントローラーの■/LIGHTを「キーライト／操作確認LED」が点灯するまで押す。

■/LIGHTボタンを離すと消えます。

▶電源について

充電式電池・乾電池の取り換え時期は

ご使用中、本体の表示窓の電池残量表示で、または本体の「3色お知らせLED」表示、「キーライト／操作確認LED」でお知らせします。

本体の表示窓
残量が少なくなってます。
↓
電池が消耗しています。
↓
残量がありません。本体の「LoBATT」表示が点滅し、電源が切れます。

本体の「3色お知らせLED」表示

LED点灯	電池残量は充分です。
↓	
LED遅い点滅	電池残量が少なくなってます。
↓	
LED早い点滅	電池残量がありません。しばらくするとLEDが消灯し、電源が切れます。

ワイヤレスコントローラーをキーライトモードでお使いのとき
「キーライト／操作確認LED」が点滅したら、リチウム電池を交換してください。

ご注意
- 100%充電されていない充電式電池を入れても、残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量（充電時間）が少なければ、持続時間は短くなります。
- 早戻し／早送りや極端に温度が低い場所で使用している時は、残量が少なく表示されることがあります。

電池の持続時間[1)] (JEITA[2)])

本体

使用電池	SP ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニカド電池 NC-6WM（100%充電時）	約15時間	約17時間	約20時間
アルカリ乾電池 LR6(SG)[3)]	約47時間	約54時間	約61時間
充電式ニカド電池とアルカリ乾電池[3)]の併用	約63時間	約73時間	約82時間

ワイヤレスコントローラー

使用電池	使用時間
リチウム電池CR2032[4)]	約1年[5)] 約10時間[6)]

1) パワーセーブモードON、WIRELESSスイッチON時の値です。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です（ソニーMDWシリーズのミニディスクを使用）。
3) 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。
4) ワイヤレスコントローラー内の付属のリチウム電池はお試し用です。
5) 1日約60回の操作を毎日行った場合
6) ■/LIGHTを押して「キーライト／操作確認LED」をキーライトモードで使用した場合

ご注意
電池の持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

リチウム電池を交換する
① RELEASEボタンを押しながら下図のようにOPENの方向にまわして電池ぶたをはずす。

② +と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2032を入れる。

③ OPENと電池ぶたの凸部を合わせ、電池ぶたを差し込む。

④ CLOSEの方向にロックするまでまわす。

▶その他

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザー光が目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを開けないでください。

ACパワーアダプターについて（付属の充電スタンド専用）
- この製品には、付属のACパワーアダプター／別売りのACパワーアダプター AC-E30L（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

充電について
- 付属の充電スタンドは、本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電中は、充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 長い間お使いにならないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体を充電スタンドからはずしてください。
- 充電スタンドのCHARGE（充電）ランプは、本体を充電スタンドに置いた時点から6時間後に消えます。途中で3秒以上はずした場合には、置き直した時点から6時間後に消えます。

日本国内での充電式電池の廃棄について
Ni-Cd
ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ：http://www.baj.or.jp/を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について
各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強くひっぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ（60℃以上）
  — 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
  — 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
  — 風呂場など、湿気の多いところ
  — 磁石、スピーカー、テレビなどの磁気を帯びたものの近く
  — ほこりの多いところ
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターにご相談ください。

温度上昇について
充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について
本機は省電力の動作方式になっています。
そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ミニディスクの取り扱いについて
- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  — **ミニディスクに直接触れない**
  シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

  — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**
  — **置き場所について**
  直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性のあるところには放置しないでください。
  — **定期的にお手入れを**
  カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふき取ってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせて貼ってください。

ヘッドホンについて
付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を、目安にしてください。

ワイヤレスコントローラーについて
- 本体とワイヤレスコントローラーの間では電波を使ってワイヤレスコントローラーから本体へ操作指示を送っています。

電波でやりとりしていますので、ご使用の際には次のことにご注意ください。
- **飛行機内では、通信電波などを乱す恐れがありますので、ワイヤレスコントローラーは使用しないでください。**
必ず本体のWIRELESSスイッチを「OFF」にし、ワイヤレスコントローラーのHOLDスイッチを▶の方向にずらして本体で操作してください。（ただし、離着陸時など電子機器の使用が制限されている場合は使用しないでください。）
- 本体とワイヤレスコントローラーは約1m以内の距離でお使いください。
- 次のような場合、受信状態が悪くなったり、操作距離が短くなることがあります。
  — ヘッドホンのコードを本体に巻き付けて使用している。（コードを延ばしてお使いください。）
  — 近くに金属物がある。または金属ラベルのMDを使用している。
  — ワイヤレスコントローラー、または本体の近くに電波の障害になる物がある。
  — コンピューター、ワープロ周辺など電磁ノイズの大きい所で使用している。
  — テレビ塔、ラジオ塔の近くなど電波の強い所で使用している。
  — 車内、電車内で使用している。
  — ラジオやワイヤレスウォークマンを聞いている人の近くで使用している。

受信状態が悪いとき、または操作できないときは、本体およびワイヤレスコントローラーの向きや位置、持ちかたを変えてみてください。

[!] 付属のワイヤレスコントローラーは本機専用です。

ボタン型電池誤飲防止について
- ワイヤレスコントローラーの電源にはボタン型電池を使用しています。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、ワイヤレスコントローラーおよび電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

乾電池ケースについて
付属の乾電池ケースは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

お手入れ

表面が汚れたときは
表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきをします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて
常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音や音切れの原因になることがあります。

端子のお手入れについて
定期的に各端子を綿棒や柔らかい布などできれいにしてください。

本体充電池挿入部

乾電池ケース

充電池（付属）／乾電池（別売り）

充電スタンド（付属）

本体底面部

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
ご不明な点があるときは、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

操作を受けつけない
- ディスクが入っていない（本体に「NoDISC」表示が出る）。
  ➡ ディスクを入れてください。
- ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと本体に「HOLD」表示が出る）。
  ➡ HOLDスイッチを矢印と逆方向にして、ホールド機能を解除してください。
- 結露（内部に水滴が付着）している。
  ➡ ディスクを取り出して、数時間待ってください。
- 充電式電池または乾電池が消耗している（本体に「LoBATT」表示が点滅する）。
  ➡ 充電式電池を充電するか、乾電池を新しいものと交換してください。
- 電池が正しく入れられていない。
  ➡ 電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れ直してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている（本体に「BLANK」表示が出る）。
  ➡ 録音されたディスクを入れてください。
- ディスクが損傷している（本体に「ERROR」表示が出る）。
  ➡ ディスクを入れ直す。それでも表示が出るときは、他のディスクと取り換えてください。
- 使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。
  ➡ 次の手順で操作し直してください。
  1 すべての電源をはずす。
  2 約30秒間そのままにする。
  3 電源をつなぐ。

ワイヤレスコントローラーで操作できない
- 本体のWIRELESSスイッチが「OFF」になっている。
  ➡ WIRELESSスイッチを「ON」にしてください。
- 他のワイヤレスコントローラーと混信している。
  ➡ 他のワイヤレスコントローラーから離してお使いください。
  ➡ ワイヤレスコントローラーの固有IDを本体に設定してください。くわしくは、「ワイヤレスコントローラーのIDを設定する」をご覧ください。
- ワイヤレスコントローラーのHOLDが解除されていない。
  ➡ HOLDを解除してください。
- キーライトモードで、ライトが点滅する。
  ➡ ワイヤレスコントローラーの電池を交換してください。
- 別売りのリモコンを本体につないでいる。
  ➡ 付属のワイヤレスコントローラーとヘッドホンを使用してください。別売りのリモコンをつないでいるときは、付属のワイヤレスコントローラーを使って本体の操作をすることはできません。
- 金属物の近くで操作している。
  ➡ 金属物から離してお使いください。
- 本体とワイヤレスコントローラーが離れすぎている。
  ➡ 本体にワイヤレスコントローラーを近づけてお使いください。（約1m以内に）

通常の再生ができない
- リピート再生を指定した。
  ➡ 再生モードを「Normal」に指定してから再生を始めてください。くわしくは、「再生モードを選ぶ」をご覧ください。
- グループモード再生している。
  ➡ グループモードをOFFにしてください。

ディスクの1曲目から再生できない
- 前回再生したときディスクの途中で止めた。
  ➡ ふたを開けるか、停止中に▶▶| ▶を2秒以上押したままにしてください。1曲目から再生できます。
- グループモードがONになっている。
  ➡ グループモードをOFFにし、再生を停止させてから▶▶| ▶を2秒以上押したままにしてください。1曲目から再生できます。

デジタルサウンドプリセットの設定ができない
- デジタルサウンドプリセットが解除されている。
  ➡ 「SOUND1」または「SOUND2」を選んでください。選びかたについては、「音質を選ぶ」をご覧ください。

再生中に音がとぎれる
- 振動の多い場所に置いている。
  ➡ 振動の少ない場所で使ってください。
- ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。

雑音が多い
- テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。
  ➡ テレビなどから離して置いてください。

瞬間的なノイズが聞こえる
- LP4（4倍モード）でステレオ録音された音を再生している。
  ➡ LP4ステレオ録音した音を再生した場合、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的なノイズが聞こえることがあります。

充電できない
- 充電スタンドの充電用端子が汚れている。
  ➡ 充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
- 充電池が入っていない。（本体を充電スタンドに置いて、本体またはリモコンのいずれかの操作ボタンを押して確認すると、本体に「NoBATT」と表示される。）
  ➡ 充電池を入れてください。

充電スタンドのCHARGEランプがつかない
- 充電池が入っていない。
  ➡ 充電池を入れてください。

正しく動作しない
- 充電スタンドにのせて操作している。
  ➡ 充電スタンドからはずして使用してください。
- プログラム設定中にグループモードに切り替えようとした。
  ➡ プログラム設定する前に、グループモードにしてください。

ヘッドホンから音が出ない、音が小さい
- ヘッドホンがしっかりと差し込まれていない。
  ➡ ∩ジャックにしっかりと差し込んでください。
- AVLS機能が働いている。
  ➡ AVLSを解除してください。くわしくは「音もれを抑え耳にやさしい音にする」の「AVLSを解除するには」をご覧ください。

「3色お知らせLED」がつかない
- パワーセーブモードがONになっている。
  ➡ パワーセーブモードをOFFにしてください。くわしくは「電池の消耗を抑える」をご覧ください。

グループ機能が動作しない
- グループ設定されていないディスクを使用している。
  ➡ グループ設定されたディスクを使用してください。
- グループ設定されていない曲を再生中、グループ機能を使おうとした。
  ➡ グループ設定されていない曲は、グループ機能は使えません。グループスキップモードを使ってグループ設定された曲を選んでください。
- プログラム設定中にグループモードに切り替えようとした。
  ➡ プログラム設定する前に、グループモードにしてください。

早送りまたは早戻しすると何曲か先または前の曲に飛んでしまう
- グループスキップモードが働いている。
  ➡ 何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップモードが解除されます。くわしくは「「グループ機能」を使う」の「グループを選んで聞く」をご覧ください

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム
再生読み取り方式
非接触光学式読み取り（半導体レーザー使用）
レーザー
GaAlAs MQWダイオード、
λ = 790 nm
回転数
約300 rpm～2,700 rpm
エラー訂正方式
アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード（ACIRC）
サンプリング周波数
44.1 kHz
コーディング
ATRAC（アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング）
ATRAC3 — LP2/LP4
変調方式
EFM
チャンネル数
ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル
周波数特性
20 ～ 20,000 Hz ±3 dB
ワウ・フラッター
実用測定限界値以下
出力端子
ヘッドホン:ステレオミニジャック
最大出力 5 mW＋ 5 mW*（16Ω）
電源
本体：
- 充電式電池 NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd1個
- アルカリ乾電池（単3形）1本

ワイヤレスコントローラー：
- リチウム電池CR2032　1個

充電スタンド：
- ACパワーアダプターDC 3 V AC100V、50/60Hz

電池持続時間
「充電式電池・乾電池の取り換え時期は」をご覧ください。
ワイヤレス搬送周波数
237.34MHz
本体寸法
約 74.5 ×81.0 ×17.7 mm
（幅／高さ／奥行き、突起部含まず）
最大外形寸法*
約 76.7 ×81.6 ×20.0 mm
（幅／高さ／奥行き）
質量
約 78g（本体のみ）
約 103g（充電式電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー
ACパワーアダプター　AC-E30L
充電式ニカド電池　NC-6WM
リモートコントローラー
RM-MC12ELK、RM-MC11EL
ステレオヘッドホン*　MDR-D66SL、MDR-E888SPなど
アクティブスピーカー　SRS-Z500、SRS-Z750、SRS-Z1000など
リチウム電池 CR2032（ワイヤレスリモコン用）

MDラベルプリンター MZP-1、ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラー RPT-M1は使用できません。

* ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。別売りのヘッドホンを使用した場合、ワイヤレスコントローラーの機能は保証されません。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
- **調子が悪いときはまずチェックを**
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときは**
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- **部品の保有期間について**
当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

アフターサービスを依頼するときは
必ず本体とヘッドホン、ワイヤレスコントローラーのすべてをお持ちください。

ご案内
ソニーではお客様技術相談窓口として**「テクニカルインフォメーションセンター」**を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。
テクニカルインフォメーションセンター
電話： 048-794-5194
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後6時
（祝日、年末、年始、弊社休日を除く）
ご相談になるときは次のことをお知らせください
- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax …………………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00